



第8回
**稲沢市民
病院まつり**

2022
10.16 SUN
10:00-15:00
入場
予約制

\ 3年ぶりの開催です! /

入場無料! 全24ブース



入場予約制 | web申し込み

- ① 顕微鏡でミクロの世界を覗いてみよう
- ② 手術室でメスを使って切ってみよう
- ③ キレイなお花の苗をプレゼント
- ④ 小学生手指衛生ポスターコンクール
- ⑤ 認知症の人の気持ちとは?
- ⑥ アロマハンドトリートメントで癒されよう
- ⑦ あなたの骨密度は大丈夫?
- ⑧ 転倒骨折センターってどんな所!?
- ⑨ 高校生の育てた新鮮野菜の販売
- ⑩ 子供の心肺蘇生術を一緒に学ぼう

※他にも色々なイベントがあります!!

転倒骨折センター

いま、なぜ転倒骨折センターなのか?

地域全体で人の骨組みを支える。



公開講座

| 公開講座 | 転倒骨折センターOPEN記念

『 転倒による骨折を予防するために 』

参加費 **無料**
予約制
定員1150名

転倒による **骨折を予防** するために。

公開講座
10.22 SUN
名古屋文理大学文化フォーラム
(市民会館) 中ホール
13:00 開場

13:00-14:00 | 自由参加イベント
14:00-16:00 | 講演

申し込みフォーム QRコード

転倒骨折センターがごこなう
予防・治療・アフターケア

公演前の **イベント** が魅力!!

13時~14時まで開催!

参加者だけのおトクな特権!

骨密度測定、体組成測定、健康相談などが
講演前まで受けられます。



14時~16時 | 講演

地域とつながる
転倒骨折センター



骨と栄養の
おいしい関係



あなたの腰痛は
何が原因?



理学療法士による/
家庭できるフレイル予防体操



稲沢市民病院は、

主に高齢者を対象とした骨折予防・治療・アフターケア
を行う「転倒骨折センター」を
令和4年10月3日(月)に開設します。



はじめに 転倒骨折センター開設の背景

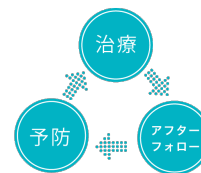
現在、4人のうち1人が65歳以上となり、高齢化は深刻な問題となっています。それに伴い医療・看護・介護の必要性も年々高まっています。また、年齢を重ねると骨密度や運動機能の低下により、わずかな段差にもつまずき、手首の骨折や、背骨がつぶれる圧迫骨折、股関節（大腿骨）骨折などがちょっとした転倒でもおきやすくなります。加えて、骨折が原因で寝たきりになるケースもあります。そこで稲沢市民病院では、これまでも整形外科・脳神経外科で多くの骨折の治療を行ってきましたが、「転倒などによる骨折予防・治療・アフターケア」まで受けられる「転倒骨折センター」を開設し地域のニーズに応えていきたいと考えています。



4人に1人が高齢者



高齢者は、転倒により骨折するリスクが高い。



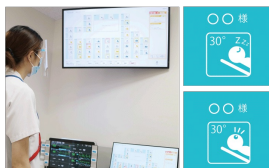
『転倒骨折センター』開設により地域のニーズに応えたい。

内科と連携した治療体制

多くの高齢者の方は、骨折だけでなくいくつかの慢性疾患もっています。例えば、心疾患、糖尿病、認知症などの疾患に対して循環器内科・糖尿病内分泌内科・老年内科などの専門医が複合的にサポートします。



専門医による複合的サポート



センサー付きベッドのモニター



4人部屋→2人部屋へ改装

安全・安心な医療が受けられる入院環境

新たに体動センサー付きベッドを導入し、患者さんの睡眠状況や活動状況を24時間観察することで、眠りの質を分析し、夜間の転倒を予防する取り組みをしていきます。また、4人部屋を2人部屋へ改装したことにより、患者さんは日中の生活をベッドの上のみでなく、歩行訓練や窓の外を眺めたり、椅子に座っておしゃべりをするなど、広々としたお部屋で生活を送ることができます。日が出ている時間帯をベッドから離れて活動することで質の高い睡眠がとれる環境を整えます。また、社会福祉士の介入や地域の訪問看護ステーションなどの連携により入院直後から退院後の生活を見据えて、患者さんが住み慣れた場所へ戻るサポートを行います。

入院前の生活に戻れるよう入院時からサポート

骨折により動けない期間が長くなると、運動量の低下により体力や筋力が低下します。そのような状態が続くと認知症や誤嚥（ごえん）性肺炎、床ずれなどを併発する危険性が高まります。転倒骨折センターでは、専門教育を受け、認定を得た看護師が合併症を予防するために介入をします。また、入院直後から退院後の生活を見据えて社会福祉士が介入し、地域の訪問看護ステーションなどと連携し、患者さんが住み慣れた場所へ戻るサポートを行います。



多職種によるチーム医療で再骨折を予防

センター内に設けた専用のリハビリテーションスペースで理学療法士による在宅生活に向けたリハビリテーションが受けることができます。また、管理栄養士による骨粗鬆症予防のための栄養相談、看護師による退院後の生活へ向けての相談や支援、レクリエーションなど生活の質を大切にしながらチーム全体で再骨折の予防に取り組みます。



内面へのアプローチも強化するために新たに体組成計も導入し、栄養も含めて予防に努めていきます。